

2024年3月25日

\*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

## アウディの2023会計年度、堅調な業績を記録： 製品ポートフォリオを強化して拡大

- Audi CEO デルナー：「経済的、技術的、戦略的に、将来に向けた立ち位置を整えている。Audi Q6 e-tron は、e モビリティのテクノロジーを飛躍的に進化させたモデル」
- CFO リッテルスベルガー：「技術の変化や競争激化の時代でも、成功する財務力を備えている」
- 売上高は 699 億ユーロに増加、営業利益は 63 億ユーロ、ネットキャッシュフローは前年と同水準の 47 億ユーロ

(ドイツ本国発表資料) 2024年3月19日、インゴルシュタット/ネッカーズルム：アウディ グループは 2023 年度、厳しい経済状況のもと堅調な業績を残しました。売上高は前年比 13.1%増の 699 億ユーロ、営業利益は 63 億ユーロ、営業利益率は 9.0%でした。ネットキャッシュフローは、前年と同水準の 47 億ユーロでした。アウディは、数多くのニューモデルを導入することにより、今後数年間で、製品ポートフォリオを大幅に強化および拡大する予定です。新しいプレミアムプラットフォームエレクトリック (PPE) を採用した、初めての電気自動車 Audi Q6 e-tron のワールドプレミアは、今後発売される一連の製品の先駆けとなります。2024 年から 2025 年にかけて、20 以上のニューモデルの導入が計画されています。

AUDI AG 取締役会会長 ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は、次のように述べています。「私たちは経済的、技術的、戦略的に将来に向けた立ち位置を整え、ニューモデルを次々と市場に投入していきます。財務実績、優れた製品、柔軟で素早い決断力を備えた企業構造など、主要な活動分野に焦点を当てた確固たる戦略に基づいています。このようにして、私たちは厳しい経済環境の中で、変革を加速させています」。

### 販売台数：すべての主要な地域で成長

アウディ グループを構成する、アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの各ブランドは、ブランド グループ プログレッシブ\*として専門知識を集結しています。2023 年度、このブランド グループは 191 万 8,912 台 (2022 年：163 万 8,638 台) の車両と 5 万 8,224 台 (2022 年：6 万 1,562 台) のモーターサイクルを販売しました。アウディは高い需要と供給の改善により、前年比 17.4%の増加となる 189 万 5,240 台の車両を販売しました。

アウディは、欧州、中国、北米といったコアマーケットで大きな成長を遂げました。長期的な競争力を確保するために、地域戦略を見直しており、これには、特に中国市場に特化したモデルの導入が含まれています。

2024 年末から、アウディと第一汽車 (FAW) の合併会社である Audi FAW NEV Company Ltd.は、中国市場向けに専用設計された電気自動車を、長春で生産する予定です。

### 電気自動車の販売がさらに増加

2023 年、アウディ グループは再び電気自動車の販売台数を大幅に伸ばし、前年比 51%の大幅増となる、17 万 8,429 台を販売しました。これらの数字は、完全なネットワーク機能を備えた、プレミアム e モビリティのリーディングプロバイダーになるという、アウディの変革が軌道に乗っていることを明確に示しています。

2024 年、アウディは e モビリティに向けて、新たなステップを踏み出します。アウディとポルシェが共同開発した PPE は、今後登場する、先進的なテクノロジーを搭載した電気自動車の技術的基盤となります。PPE は、ミッドサイズおよびラグジュアリーセグメントの幅広いモデルに対応できる拡張性を備えています。

その最初のモデルが、Audi Q6 e-tron です。アウディが初めて PPE を採用した市販モデルであり、新世代のアウディを代表する Audi Q6 e-tron は、効率、一充電航続距離、充電速度、デザインにおいて新たなベンチマークを打ち立てます。操作コンセプトを一新した E<sup>3</sup> 1.2 電子アーキテクチャーは、アップデートおよびアップグレードが可能です。これにより、アウディは完全なコネクテッドカーへの道のりにおいて、次の一步を踏み出します。Audi Q6 e-tron は、インゴルシュタットで生産される初めての電気自動車でもあります。

同時にアウディは、ソフトウェア定義ドビークル (SDV : Software Defined Vehicle) へのパラダイムシフトを進め、ソフトウェアベースのソリューションとバーチャルカスタマーエクスペリエンスに注力します。アウディは、フォルクスワーゲン グループのソフトウェア部門である CARIAD およびフォルクスワーゲン ブランドと協力して、この移行を推進する SDV Hub の運用を開始します。ジョイントコンピテンスセンターでは、専門家たちが次世代電気自動車のハードウェア、ソフトウェア、電子アーキテクチャーの開発に取り組んでいます。

### 売上高がさらに増加

2023 年、アウディ グループの売上高は、698 億 6,500 万ユーロ (2022 年:617 億 5,300 万ユーロ) に達しました。堅調な販売実績、高い需要、より安定した供給により、売上高は前年より 13.1%増加しました。この成長には、電気自動車の Audi Q4 e-tron に加え、Audi Q3、Audi Q5、Audi Q7 シリーズが特に大きく貢献しました。EU タクソノミーに準拠した売上高の割合は、16.3% (2022 年 : 13.5%) に上昇しました。

### 堅調な営業利益、営業利益率は予想の範囲内

アウディ グループの営業利益は、原材料のヘッジ取引によるマイナスの影響を受けながらも、62 億 8,000 万ユーロ (2022 年 : 75 億 5,000 万ユーロ) に達しました。原材料のヘッジ取引は、前年に 8 億ユーロのプラスの効果をもたらしましたが、2023 年の営業利益は、9 億ユーロ減少させました。営業利益率は、目標範囲内の 9.0%でした。

アウディは、困難であった 2023 年における従業員の努力に報いるため、従業員に利益の一部を分配します。ドイツ工場の熟練労働者の場合、2023 年のアウディの利益分配額は 8,840 ユーロとなります (2022 年 : 8,510 ユーロ)。利益分配は、営業利益などを考慮した労働協約に定められた計算式に基づいて行われます。

### ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの好調な業績

ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの各ブランドの好調な財務実績が、ブランド グループの業績に貢献しました。ランボルギーニは、2023 年、前年比 9.5%という大幅な伸びとなる、1 万 112 台（2022 年：9,233 台）の車両を販売しました。売上高は非常に好調だった前年をさらに 12.1%上回り、26 億 6,300 万ユーロ（2022 年：23 億 7,500 万ユーロ）に増加しました。営業利益率は 27.2%、営業利益は 7 億 2,300 万ユーロに達しました。

ベントレーは、1 万 3,560 台（2022 年：1 万 5,174 台）の車両を販売しました。売上高は、29 億 3,800 万ユーロ（2022 年：33 億 8,400 万ユーロ）。営業利益率は 20.1%に達し、営業利益は 5 億 8,900 万ユーロでした。

ドゥカティは、5 万 8,224 台のモーターサイクルを販売しました。この数値は、記録的な販売台数を達成した 2022 年の 6 万 1,562 台と比較するとわずかに減少しました。売上高も 10 億 6,500 万ユーロで、非常に好調だった前年（10 億 8,900 万ユーロ）をわずかに下回りました。営業利益率は 10.5%、営業利益は 1 億 1,200 万ユーロでした。

### 堅調な営業外収益、ネットキャッシュフローは高水準を維持

アウディ グループの 2023 年の営業外収益は、14 億 2,300 万ユーロ（2022 年：15 億 2,200 万ユーロ）でした。中国の事業からの営業外収益は、9 億 1,500 万ユーロ（2022 年：11 億 5,300 万ユーロ）、税引後利益は 62 億 6,000 万ユーロ（2022 年：71 億 1,600 万ユーロ）となりました。

アウディ グループのネットキャッシュフローは、好調だった前年と同水準の 47 億 4,000 万ユーロ（2022 年：48 億 800 万ユーロ）でした。

### 2024 年度の展望

AUDI AG 最高財務責任者（CFO） ユルゲン リッテルスベルガー（Jurgen Rittersberger）は、次のように述べています。「堅実な財務結果により、私たちが今後も数年間にわたって変革を推進し続けていく体制が整いました。そのため、私たちは Performance Program 14 を立ち上げました。これは、私たちの収益性を確保するための効果的なプログラムです。長期的には、ブランド グループ プログレッシブの営業利益率の目標である 14%を達成したいと考えています」。

アウディのスローガンである Vorsprung durch Technik（技術による先進）は、再びブランドを定義する中心的な役割を果たします。これは、品質とデザインにおけるアウディのリーダーシップを象徴します。

2024 年も依然として情勢は困難で、マクロ経済も厳しい状況にあります。アウディは、激しい競争が今後も続くと予想しています。同時に、駆動システムの柔軟なポートフォリオを提供することが重要です。アウディは需要の変化に対応するため、電気自動車と内燃エンジン搭載モデルの両方を生産し、将来に備えています。

若干の経済成長と部品の安定した供給を前提として、アウディ グループは 2024 会計年度に 630 億ユーロから 680 億ユーロの売上高を予想しています。また、営業利益率は、8~10%の範囲、ネットキャッシュフローは、25 億ユーロから 35 億ユーロの範囲になると予想しています。

### アウディ グループの主な業績 (抜粋)

	2023 年	2022 年
ブランド グループ販売台数	1,918,912	1,638,638
アウディブランド販売台数	1,895,240	1,614,231
売上高 (単位: 百万ユーロ)	69,865	61,753
営業利益 (単位: 百万ユーロ)	6,280	7,550
営業利益率 (%)	9.0	12.2
ネットキャッシュフロー (単位: 百万ユーロ)	4,740	4,808
営業外収益 (単位: 百万ユーロ)	1,423	1,522
税引後利益 (単位: 百万ユーロ)	6,260	7,116
EU タクソミーに準拠した売上高の割合 (%)	16.3	13.5

### アウディ グループの 2024 年の予測

	2024 年
売上高 (単位: 百万ユーロ)	63,000 - 68,000
営業利益率 (%)	8 - 10
ネットキャッシュフロー (単位: 百万ユーロ)	2,500 - 3,500

\*アウディ グループを表すブランド グループ プロGRESSは、アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティ ブランドから構成されています。本リリースでは、「アウディ グループ」、「ブランド グループ プロGRESS」、「ブランド グループ」という用語は、同義語として使用されています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
 アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：  
 アウディ コミュニケーション センター  
 0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントにおいて、もっとも成功を収めている自動車およびモーターサイクルのメーカーの1つです。アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの各ブランドの製品は、12 か国の21 の拠点で生産されています。アウディとそのパートナーは、世界中の100 以上の市場に拠点を持っています。

アウディ グループは、2023 年に190 万台のアウディ、1 万3,560 台のベントレー、1 万112 台のランボルギーニ、5 万8,224 台のドゥカティを販売しました。2023 会計年度におけるアウディ グループの売上高は699 億ユーロ、営業利益は63 億ユーロでした。2023 年、アウディ グループでは、世界中で年間平均8 万7,000 人以上が働いており、そのうち5 万3,000 人以上がドイツのAUDI AG で働いていました。魅力的なブランドと数多くのニューモデルを擁するアウディ グループは、持続可能で完全にネットワーク化されたプレミアム モビリティのプロバイダーへの道を体系的に追求しています。